

# 不登校対策支援プラン

更新日 8 月 9 日

## プランの策定にあたって

県内において不登校児童生徒数は増加傾向にある中、不登校対策では、対象や課題性に基づいた取組が求められています。全ての児童生徒を対象とした取組や不登校の予兆が見られる児童生徒への支援、欠席が継続している児童生徒への支援を組織的かつ計画的に行うことが必要です。

本校では、実態を把握し、以下の目標や取組を設定し、教職員が一丸となり対策を進めることで、誰一人取り残すことのない、持続可能な不登校対策や支援を行います。

## 不登校対策の目標

- 1 前年度不登校生徒及び保護者への自立に向けた継続支援と関係機関との連携体制の構築及び進路情報等の適切な提供
- 2 未然防止のための取組及び予兆の見られる生徒の早期発見と個別の支援体制づくり
- 3 魅力ある学校づくりと居心地がよく自己有用感の感じられる学級づくり

## 不登校対策における重層的支援構造

(参考：生徒指導提要R4.12)

困難課題対応  
不登校児童生徒対象

- ・不登校児童生徒へのカウンセリングや校内サポートルームへの登校
- ・保護者や関係機関と連携した支援（拡大ケース会議の実施）

早期発見対応  
予兆のある生徒対象

- ・休み始めの段階でのアセスメント（校内ケース会議）
- ・組織的対応、保護者と連携した支援

未然防止教育  
全ての児童生徒対象  
不登校対策を意識する

- ・児童生徒がSOSを出す力を獲得
- ・教職員が児童生徒の変化に気づきSOSを受けとめる力の向上

発達支持  
全ての児童生徒対象  
不登校を意識しない

- ・安全・安心な居場所となるための「魅力ある学校づくり」と「分かりやすい授業」の工夫
- ・教育相談体制の充実

## 不登校対策チーム構成

管理職、生徒指導、特別支援教育コーディネーター、該当担任、学年長、部活動顧問、養護教諭、SC、SSW

## 不登校児童生徒支援関係機関等

宍粟市立教育支援センター、しろう学校サポートチーム、家庭児童相談室

## 4つの層での取組 等

発達支持

- ・居心地のいい学級づくり。活躍の場がある授業、場面づくり。
- ・ストレスマネジメントやレジリエンストレーニングによる折れない心づくり。

未然防止教育

- ・生徒がSOSを出せる人間関係づくり。
- ・日常の生徒観察（休み時間等）と談話の中から、本人や級友の様子を知る。

早期発見対応

- ・生活ノートの活用、定期的な二者面談の実施
- ・気になる生徒への個別の声かけ、カウンセリングの紹介、保護者との連携

困難課題対応

- ・別室設置、学力保障のための手立て（ICTの活用等）
- ・カウンセリング、教育支援センター等の連携と関係機関の紹介